

顔認証システム Aタイプ 取扱説明書

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

本書は富士ゼロックスブランドの商品を含みます。富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。Xerox、Xerox ロゴ、および Fuji Xerox ロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。FUJIFILM、および FUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

本書の使い方

本書は、お使いの機械に本製品を設置したうえで、ユーザーが機能を使用する方法や、管理者が各機能を設定する方法などについて記載しています。

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

本書の構成

本書の構成は、次のとおりです。

1 概要

顔認証システム A タイプの概要、各部の名称と働きについて説明しています。

2 設置・設定手順

顔認証システムを使用するための設置、設定手順について説明しています。

3 顔認証の手順

顔認証の手順について説明しています。

4 顔認証サーバーの管理

顔認証サーバーの管理について説明しています。

5 バックアップとリストア

顔認証システムのバックアップ、リストアについて説明しています。

6 注意制限 / トラブル対処

顔認証システムの注意制限と、トラブルが発生した場合の対処方法について説明しています。

7 付録

初期設定方法と認証方式の移行方法について説明しています。

本書の表記

- 機械のソフトウェアのバージョンによって、本書に記載している画面が、お使いの機械と異なる場合があります。
- お使いの機械の構成によっては、画面に表示されない項目や使用できない機能があります。
- 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記

- 必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。

補足

- 操作の参考になる情報を記載しています。

参照

- 参照先を記載しています。

- 本文中では、次の記号を使用しています。

- 「 」
 - 本書内にある参照先を表しています。
 - 機能の名称やタッチパネルディスプレイのメッセージ、入力文字列などを表しています。
- 『 』
 - 参照するマニュアルを表しています。
- []
 - 機械のタッチパネルディスプレイに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
 - コンピューターの画面に表示されるメニュー、ウィンドウ、ダイアログボックスなどの名称と、それらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表しています。
- { }
 - 操作や動作環境によって変わる値を表しています。
例：[{ログインユーザー名}] が表示されます。
- < > ボタン
 - 機械の操作パネル上のハードウェアボタンを表しています。
- < > キー
 - コンピューターのキーボード上のキーを表しています。
- >
 - 機械の操作パネルで順に項目を選択する手順を、省略して表しています。
 - コンピューターで順に項目をクリックする手順を、省略して表しています。
 - 参照先を省略して表しています。

1 概要

1.1 顔認証システムとは

顔認証システムとは、顔画像からユーザーを特定するシステムです。

本システムは、ICカード認証と併用することができます。ICカード認証と併用する場合は、事前にICカード認証の設置・設定を行ってください。

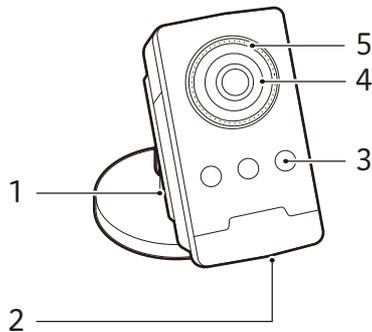
顔認証システムについて詳しくは、弊社公式サイトで提供している、または、顔認証サーバーに内蔵されている次のマニュアルを参照してください。

『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』

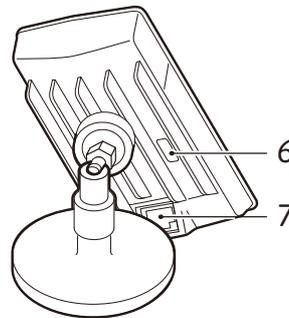
1.2 各部の名称と働き

■ネットワークカメラ

正面



背面

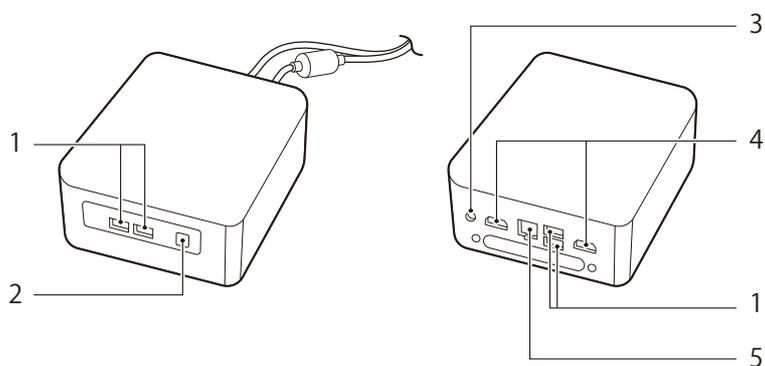


番号	名称	働き
1	スタンド	ネットワークカメラにつなぎ、カメラ本体を支えます。
2	LED ランプ	ネットワークカメラの設定または顔検知状況を表します。
3	スピーカー	顔認証の成功、失敗時に音が鳴ります。
4	フォーカスリング	回すことで、フォーカスを調整します。
5	フォーカスロックリング	時計回りに回すとフォーカスリングをロックし、反時計回りに回すと解除します。
6	電源コネクタ	電源コードを接続、ネットワークカメラに電源を供給します。
7	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します。

■顔認証サーバー

正面

背面



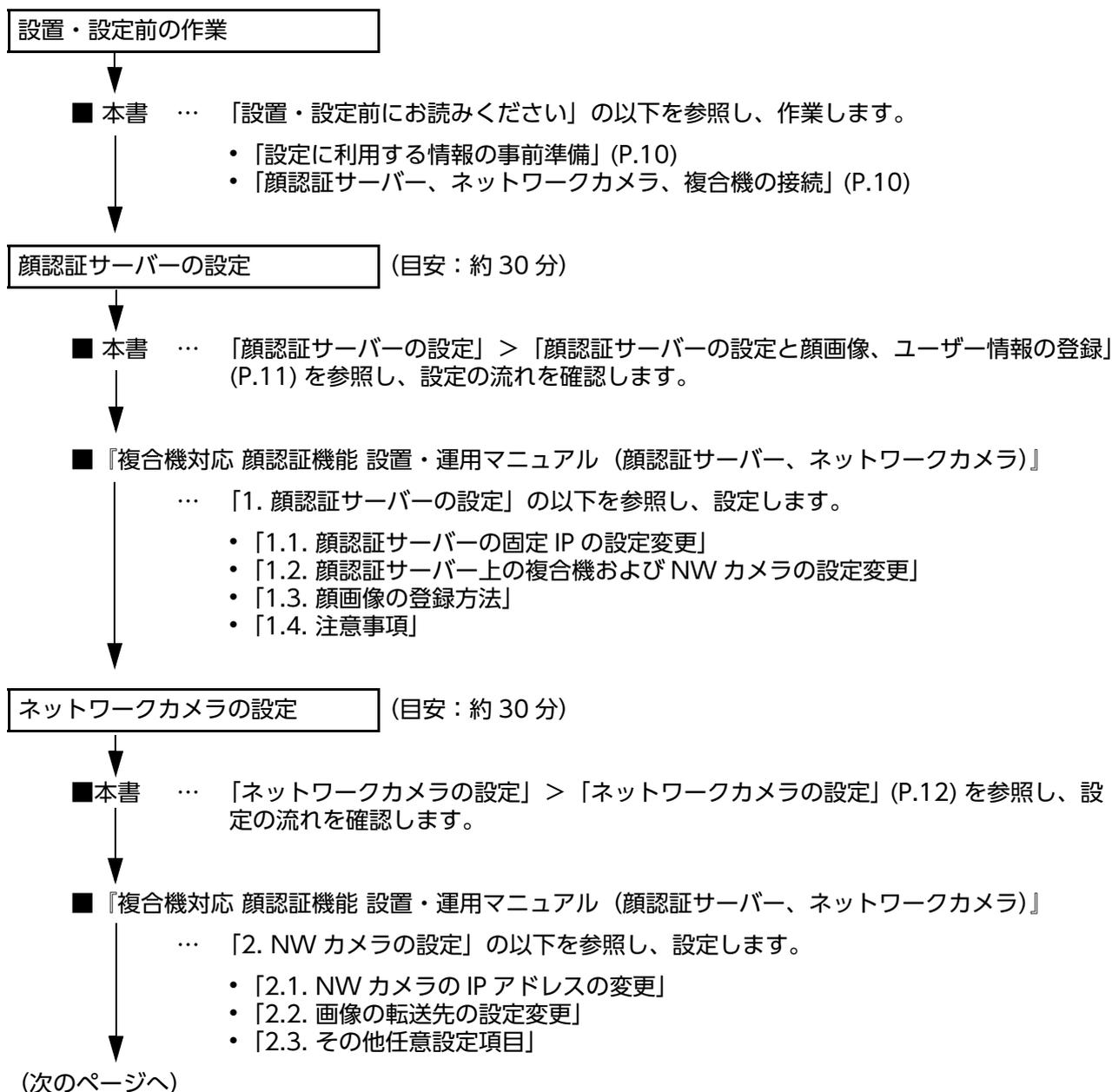
番号	名称	働き
1	USB コネクター	キーボード、マウスまたは USB 接続オプションや関連商品のケーブルを接続します。
2	電源スイッチ	顔認証サーバーの電源を入れたり切ったりします。
3	電源コネクター	電源コードを接続し、顔認証サーバーに電源を供給します。
4	映像出力コネクター	ディスプレイのケーブルを接続します。
5	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します。

2 設置・設定手順

2.1 設置・設定の前にお読みください

顔認証システムの設置・設定は、次の2冊を使用します。

- 本書
 - 『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』
- 2冊のマニュアルは以下の構成で設置、設定について案内します。



(前のページより)



■本書 … 「ネットワークカメラの設定」 > 「顔認証サーバーとネットワークカメラの接続状態の確認」(P.12) を参照し、接続状態を確認します。



複合機の設定 (目安：約 30 分)



■本書 … 「複合機の設定」の以下を参照し、設定します。

- 「複合機本体の設定」(P.14)
- 「プラグインの設定」(P.16)
- 「ユーザー情報の登録」(P.19)



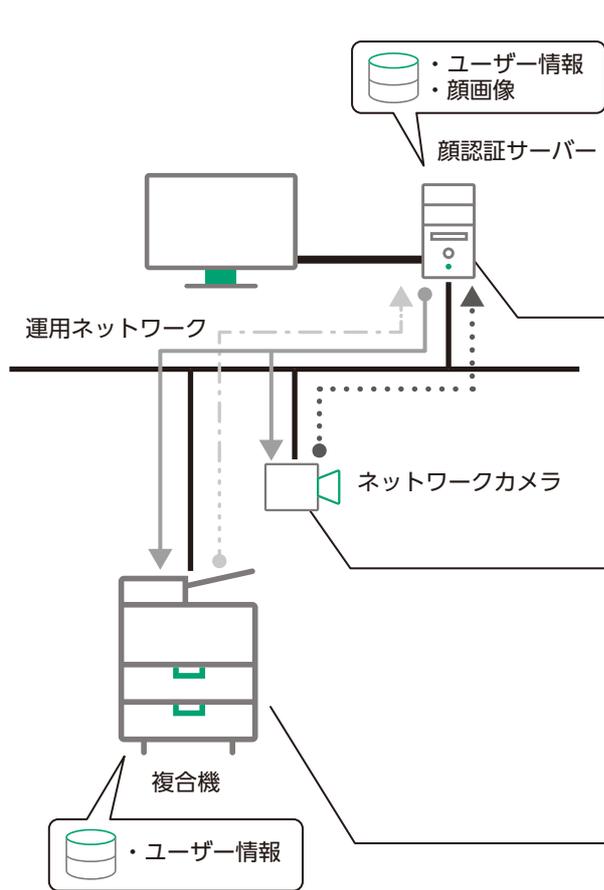
顔認証の手順



■本書 … 「4. 顔認証の手順」 > 「顔情報で認証する」(P.21) を参照し、顔認証の手順を確認します。



(終了)



『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル
(顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』

■ 顔認証サーバーの設定

- 1.1. 顔認証サーバーの固定 IP の設定変更
顔認証サーバー本体を運用ネットワークに接続します。
- 1.2. 顔認証サーバー上の複合機および NW カメラの設定変更
顔認証サーバーから複合機とネットワークカメラへ接続できるようにします。
- 1.3. 顔画像の登録方法
顔認証サーバーへ、顔認証を行うユーザー情報と顔画像を登録します。

『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル
(顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』

■ ネットワークカメラの設定

- 2.1. NW カメラの IP アドレスの設定変更
ネットワークカメラ本体を運用ネットワークに接続します。
- 2.2. 画像の転送先の設定変更
ネットワークカメラから顔認証サーバーへ画像を転送できるようにします。

本書

■ 複合機の設定

複合機本体の設定

複合機本体を運用ネットワークに接続します。また、複合機で顔認証を利用できるように設定します。

プラグインの設定

複合機から顔認証サーバーへ接続できるようにします。

ユーザー情報の登録

顔認証サーバーから通知されるユーザー情報に対応するユーザーを複合機へ登録します。

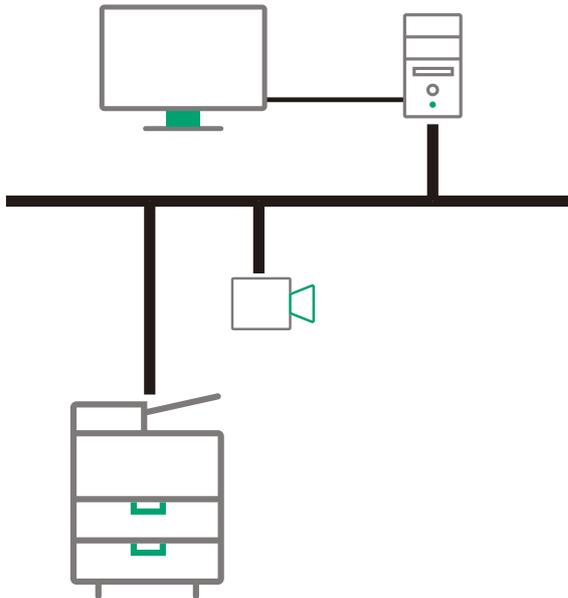
設定に利用する情報の事前準備

設置・設定を行う前に以下の準備を行ってください。

- ICカードと併用される場合は、事前にICカード認証の設定を行ってください。
- 顔認証サーバーを操作できるように、ディスプレイ、キーボード、マウスを用意し、顔認証サーバーと接続している状態にしてください。
- 顔認証サーバーに同梱されている初期設定用紙を準備してください。
- 初期設定用紙に、顔認証サーバー本体の管理者アカウント / パスワード、顔認証サーバー管理ツールのユーザ ID / アクセスキー、ネットワークカメラのユーザ名 / パスワードが記載されていることを確認してください。
- 設定をスムーズに行えるように、運用で使用される顔認証サーバーの設定情報、ネットワークカメラの設定、複合機およびプラグインの設定を初期設定用紙に事前に記入してください。
- 複合機の機械管理者アカウントとパスワードを用意してください。
- 顔認証サーバー、ネットワークカメラを運用されるネットワークに接続してください。
- 複合機、顔認証サーバー、ネットワークカメラの電源を入れてください。
- 初期設定用紙に記載された管理者アカウントとパスワードで顔認証サーバーにログインしてください。
- 顔認証動作確認用ユーザーの顔画像を、メディア (USB/DVD など) を経由し顔認証サーバー上へ用意してください。利用可能な顔画像ファイルの形式は、「.jpg」、「.bmp」、「.png」のみとなります。

顔認証サーバー、ネットワークカメラ、複合機の接続

以下、顔認証サーバー、ネットワークカメラ、複合機を運用される環境へネットワークケーブルを用いて接続してください。



顔認証サーバーの設置

1. 顔認証サーバーにキーボード、マウス、ディスプレイなどの各周辺機器を接続します。
2. ネットワークケーブルを接続して、電源を入れます。

2.2 顔認証サーバーの設定

顔認証システムを使用するには、顔認証サーバーで以下の設定が必要です。

顔認証サーバーの設定と顔画像、ユーザー情報の登録

詳細については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の 1.1 章から 1.4 章を参照してください。

項目	内容	参照先
顔認証サーバーの IP アドレス設定	顔認証サーバーに IP アドレスを設定します。	詳細については、1 章「サーバー設定」> 1.1 章「顔認証サーバーの固定 IP の設定変更」を参照してください。
複合機とネットワークカメラの IP アドレス設定	顔認証サーバーにネットワークカメラの IP アドレスを設定します。	詳細については、1 章「サーバー設定」> 1.2 章「サーバ上の複合機およびカメラの設定変更」を参照してください。
顔画像とユーザー情報の登録	顔認証サーバーにユーザーの顔画像と IDなどを登録します。	顔画像の登録方法、留意事項とユーザー情報管理などの詳細について、1 章「サーバー設定」> 1.3 章「顔画像の登録方法」および 1.4 章「注意事項」を参照してください。

注記

- 顔認証サーバーに登録するユーザー ID は、複合機に登録する UserID と一致させる必要があります。一致していないと、認証できません。複合機に登録する UserID は、この後の手順の「ユーザー情報の登録」(P.19) で設定します。

補足

- 顔認証サーバーに接続できる複合機は 10 台です。
- 顔認証サーバーに登録できるユーザーの推奨登録数は、複合機 1 台につき 150 人です。

2.3 ネットワークカメラの設定

ネットワークカメラの設定

詳細については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の 2.1 章から 2.3 章を参照してください。

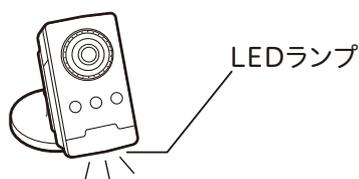
項目	内容	参照先
ネットワークカメラの基本設定	ネットワークカメラにネットワーク設定、保存先、アクセス権などを設定します。	詳細については、2 章「カメラの設定」 > 2.1 章「NW カメラの IP アドレスの変更」および 2.2 章「画像の転送先の設定変更」を参照してください。
ネットワークカメラの任意設定	カメラの 180 度回転、音声の設定、ナイトモードを設定します。	詳細については、2 章「カメラの設定」 > 2.3 章「その他任意設定項目」を参照してください。

顔認証サーバーとネットワークカメラの接続状態の確認

顔認証サーバーとネットワークカメラの接続状態を確認します。

ネットワークカメラに顔をかざしてください。

顔認証サーバーとネットワークカメラの設定が正しい場合、ネットワークカメラの LED ランプが緑色に光り、「ポン・ポーン」という音が鳴ります。



LED ランプが赤く光って音になる場合は、顔認証に失敗しています。

次の原因が考えられます。

顔認証サーバーにユーザーが登録されていません。

顔画像とユーザー情報が正しく登録されていることを確認してください。

6D 参照

- 「顔認証サーバーの設定と顔画像、ユーザー情報の登録」(P.11)。

ユーザーの顔を認識できません。

顔画像とユーザー情報が登録されているにもかかわらず、顔認証に失敗する場合があります。

カメラの設置位置が正しいかを確認してください。

6D 参照

- 「ネットワークカメラの設定」(P.12)。

カメラの設置環境を確認してください。

 参照

- 「顔認証時の推奨環境」(P.26)。

顔認証サーバーに登録している顔画像を確認してください。

 参照

- 「登録顔画像に関する留意事項」(P.27)。

2.4 複合機の設定

顔認証システムの機能を利用するには、次の設定が必要です。

- 複合機本体の設定
- 顔認証プラグインの設定
- ユーザー情報の登録

注記

- 顔認証の設定は、ICカードの設定を利用します。複合機の操作パネル上に表示される「ICカード」は、「顔認証」と読み替えてください。

複合機本体の設定

お使いの複合機の「設定」画面で、次の設定をします。

- 認証方式の設定
- 固定 IP アドレスの設定
- 顔認証利用設定
- ユーザー ID とパスワードでの代替ログイン設定
- 認証解除方式の設定

1. ホーム画面の左上の認証情報の表示エリアを押します。

2. 機械管理者のユーザー ID を入力し、[OK] を押します。

パスワードを入力する場合は、[次へ] を押し、機械管理者のパスワードを入力して [OK] を押します。機械管理者モードに入り、ホーム画面が表示されます。

補足

- ユーザー ID とパスワードの初期値は、本体同梱の取扱説明書を参照してください。
- ICカード併用時、機械管理者モードにログインするには、次の方法があります。
 - 機械管理者 ID と一致したカードをかざし、キーボードでユーザー ID とパスワードを入力する。
 - 機械管理者 ID と一致したカードをかざし、機械管理者の顔を認識させたあと、パスワードを入力する。
- 機械管理者は一般ユーザーとして利用できません。

3. ホーム画面の「設定」を押し、「設定」画面を表示します。



4. 「設定」画面で、次の項目を設定します。

参照

- 詳細については、『リファレンスガイド』を参照してください。

認証方式の設定

補足

- [カスタム認証] は利用できません。
- 顔認証と IC カード認証の両方を認証して利用する場合、[認証しない] は利用できません。

- 1) [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証 / 集計の設定] を押します。
- 2) [本体認証 / 集計] を選択します。(外部認証を利用される場合は、[ネット認証 / 集計] を選択します。)
- 3) [OK] を押します。
- 4) [設定] 画面に戻ります。

固定 IP アドレスの設定

- 1) [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [TCP/IP- ネットワーク設定] を押します。
- 2) [IPv4 - IP アドレス取得方法] を押します。
- 3) [手動で設定] に設定して、[OK] を押します。
- 4) [IPv4 - IP アドレス] を押します。
- 5) 表示される画面に IP アドレスを入力して、[OK] を押します。
- 6) [設定] 画面に戻ります。

顔認証利用設定

- 1) [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [IC カードの使用] を押します。
- 2) [する] に設定して、[OK] を押します。
- 3) [設定] 画面に戻ります。

ユーザー ID とパスワードでの代替ログイン設定

補足

- 本システムで運用する ID は、カード ID、顔情報、ユーザー ID のすべてを一致させてください。

認証方式が [本体認証 / 集計] の場合 :

- 1) [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [IC カード接続時の認証] を押します。
- 2) [IC カードまたはパネル入力] を押します。
- 3) [設定] 画面に戻ります。

認証方式が [ネット認証 / 集計] の場合 :

設定不要

認証解除方式の設定

- 1) [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [非接触型 IC カード設定] を押します。
- 2) [パネル指示で認証解除] に設定して、[OK] を押します。
- 3) ホームボタンを押します。
- 4) 画面の表示に従って、機械を再起動します。

プラグインの設定

顔認証システムの機能を使用するには、プラグインの設定が必要です。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの複合機の IP アドレスを入力し、<Enter> キーを押します。

補足

- インターネットサービスへの接続時、または操作中にユーザー名とパスワードの入力を求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3. [システム] > [プラグイン設定] > [組み込みプラグイン機能] にチェックを付けます。



補足

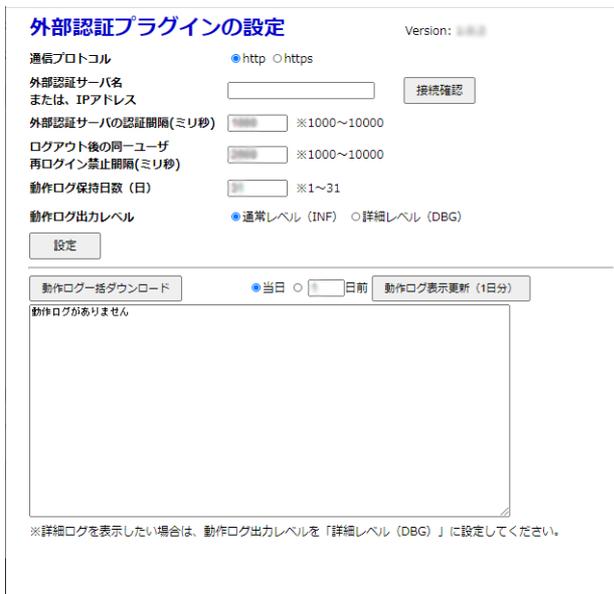
- [XPS] とは、[XML Paper Specification] の略です。

4. [External authentication plugin] を選択し、[開始] をクリックします。

5. 表示される [外部認証プラグインの設定] 画面で、顔認証に関する複合機の設定を行うため、次の項目を設定します。

 **注記**

- [外部認証プラグインの設定] 画面上に表示される「外部認証」は、「顔認証」と読み替えてください。



外部認証プラグインの設定 Version: 1.0.0

通信プロトコル http https

外部認証サーバ名
または、IPアドレス

外部認証サーバの認証間隔(ミリ秒) ※1000~10000

ログアウト後の同一ユーザ
再ログイン禁止間隔(ミリ秒) ※1000~10000

動作ログ保持日数(日) ※1~31

動作ログ出力レベル 通常レベル (INF) 詳細レベル (DBG)

動作ログ一括ダウンロード 当日 前日

動作ログがありません

※詳細ログを表示したい場合は、動作ログ出力レベルを「詳細レベル (DBG)」に設定してください。

- 必須設定項目

設定項目	設定内容
外部認証サーバ名 または IP アドレス	顔認証サーバがインストールされている PC の IP アドレスまたはホスト名を指定します。

- 任意設定項目

設定項目	設定内容
通信プロトコル	プラグインが顔認証サーバへアクセスする際に使用する通信プロトコルを指定します。
接続確認ボタン	顔認証サーバへの ping を確認します。 表示されるメッセージの詳細は「メッセージ」(P.18) を参照してください。
外部認証サーバの認証間隔 (ミリ秒)	[External authentication plugin] プラグインは顔認証サーバへ定期的にログインユーザ情報を問い合わせています。その問い合わせ間隔時間をミリ秒単位で指定します。
ログアウト後の同一ユーザ再 ログイン禁止間隔 (ミリ秒)	ログインユーザがログアウトした際に、再度ログインできる間隔時間をミリ秒単位で指定します。
動作ログ保持日数 (日)	動作ログ保持日数を指定します。
動作ログ出力レベル	動作ログ出力レベルを「通常レベル (INF)」、「詳細レベル (DBG)」から選択します。
設定ボタン	変更した値が設定されます。
動作ログ一括ダウンロードボ タン	これまで記録されたログ (1日1ファイル、最大31ファイル) を1つの zip ファイルにまとめたものがクライアント PC のローカルフォルダーにダウンロードされます。zip ファイル名は「pluginlog.zip」になります。

設定項目	設定内容
動作ログ表示更新ボタン	当日分、または何日前の動作ログをテキストエリアに表示させることができます。指定された日のログがない場合は「動作ログがありません。」というメッセージが表示されます。

6. IPアドレスを入力して、[接続確認] ボタンをクリックすると、以下の内容のメッセージが表示されます。メッセージの内容と対策を確認して、[設定] をクリックします。

メッセージ	原因 / 対策
「認証サーバの設定に成功しました。」	顔認証サーバーに接続成功、「設定」をクリックして、設定内容を適用してください。
「認証サーバに接続できませんでした。入力されたサーバ名が正しいかを確認してください。 No route to host」	顔認証サーバーの電源が入っているか、ネットワークの接続状況を確認してください。 プロキシが設定されている場合は、顔認証サーバーを除外する必要があります。
「認証サーバに接続できませんでした。入力されたサーバ名が正しいかを確認してください。 connect timed out」	顔認証サーバーに IIS サービスがインストールされていないか、または開始されていません。 通信プロトコルを https に指定した場合に、該当サーバーの SSL 設定が正しくない場合もこのメッセージが表示されます。

7. [外部認証プラグインの設定] 画面右上にある [×] を押して、画面を閉じます。

ユーザー情報の登録

お使いの複合機に、顔認証サーバーで登録したユーザー情報を登録します。

ここでは、本体認証時のユーザー情報を複合機の操作パネルから登録する手順を説明します。

補足

- インターネットサービスの[認証/集計/権限]タブ > [ユーザーアカウント一覧] > [設定] > [ユーザーの登録]からも登録することができます。詳しくは、インターネットサービスのヘルプを参照してください。
- 外部認証時のユーザー情報の登録については、ご利用の外部認証サーバーのマニュアルを参照してください。

1. 機械管理者モードに入ります。

補足

- 機械管理者モードの入りは「複合機本体の設定」(P.14)の手順1、2を参照してください。

2. ホーム画面の[設定]を押し、[認証/集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定]の[ユーザー登録/集計確認]を押しします。



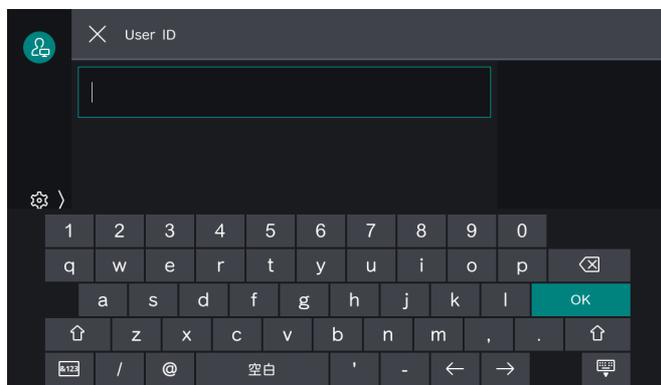
3. ユーザー登録する [No.] を押しします。



4. User ID を入力し、[OK] を押します。

注記

- ここで登録する User ID は、顔認証サーバーで登録したユーザー ID、および IC カードから読み取れたカード ID と一致させてください。
- 本システムで運用する ID は、カード ID、顔情報、ユーザー ID のすべてが一致しないと、認証できません。



5. 必要に応じて、任意の項目を設定します。

以上で複合機の設定は終わりです。

3 顔認証の手順

3.1 顔情報で認証する

顔認証には、次の3つの認証方法があります。

- 「顔認証単体の場合」(P.21)
- 「顔認証とICカード認証の両方を認証して利用する場合」(P.22)
- 「顔認証とICカード認証のどちらか一方を認証して利用する場合」(P.23)

顔認証単体の場合

1. 複合機の前に立ち、自然な姿勢でネットワークカメラを見ます。

ネットワークカメラのLEDランプが緑色に光り、「ボン・ポーン」という音が鳴ります。認証されると、ホーム画面が表示されます。



補足

- 複合機の操作パネルの前から15 cm ~ 20 cm離れた位置に立つことを推奨します。
- 顔認証されない、または顔認証に時間がかかる場合は、ネットワークカメラに顔を近づけてください。
- 認証設定によっては、最初にホーム画面が表示されることがありますが、顔認証できます。

認証されなかった場合

顔認証できなかったときは、ネットワークカメラのLEDランプが赤く光って音が鳴ります。設置環境を確認してから、再度、顔認証します。

顔認証と IC カード認証の両方を認証して利用する場合

顔認証、IC カード認証は、どちらからでも認証できます。

本書では、顔認証、IC カード認証の順で説明します。

1. 複合機の前に立ち、自然な姿勢でネットワークカメラを見ます。

ネットワークカメラの LED ランプが緑色に光り、「ポン・ポーン」という音が鳴ります。

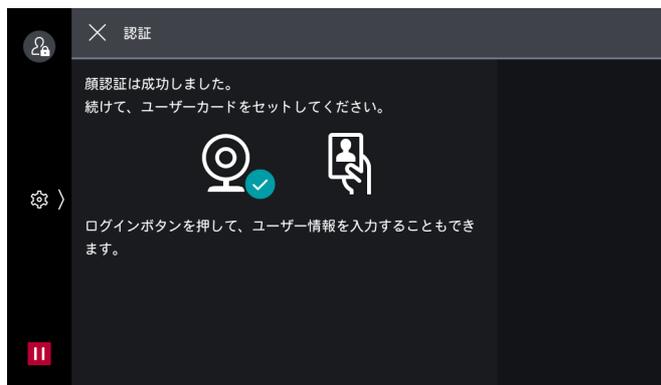


補足

- 複合機の操作パネルの前から 15 cm ~ 20 cm 離れた位置に立つことを推奨します。
- 顔認証されない、または顔認証に時間がかかる場合は、ネットワークカメラに顔を近づけてください。
- 認証設定によっては、最初にホーム画面が表示されることがありますが、顔認証できます。

2. IC カードリーダーに IC カードをかざします。

認証されると、ホーム画面が表示されます。



認証されなかった場合

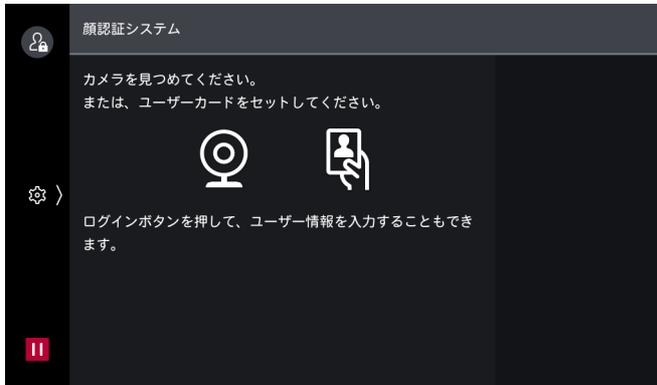
顔認証できなかったときは、ネットワークカメラの LED ランプが赤く光って音が鳴ります。

設置環境を確認してから、再度、顔認証します。

顔認証と IC カード認証のどちらか一方を認証して利用する場合

1. 複合機の前に立ち、自然な姿勢でネットワークカメラを見ます。または IC カードリーダーに IC カードをかざします。

顔認証の場合、ネットワークカメラの LED ランプが緑色に光り、「ポン・ポーン」という音が鳴ります。認証されると、ホーム画面が表示されます。



補足

- 複合機の操作パネルの前から 15 cm ~ 20 cm 離れた位置に立つことを推奨します。
- 顔認証されない、または顔認証に時間がかかる場合は、ネットワークカメラに顔を近づけてください。
- 認証設定によっては、最初にホーム画面が表示されることがありますが、顔認証および IC カード認証できます。

認証されなかった場合

顔認証できなかったときは、ネットワークカメラの LED ランプが赤く光って音が鳴ります。設置環境を確認してから、再度、顔認証します。

4 顔認証サーバーの管理

4.1 顔認証サーバーの管理内容

顔認証サーバーでは、ユーザー情報や複合機の情報を管理できます。

詳細については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の3章「ユーザ管理およびプリンタ管理」を参照してください。

ユーザーの管理

ユーザー情報の管理については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の3章「ユーザ管理およびプリンタ管理」>「ユーザの管理」を参照してください。

複合機の管理

複合機の情報の管理については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の3章「ユーザ管理およびプリンタ管理」>「プリンタの管理」を参照してください。

5 バックアップとリストア

5.1 顔認証システムのバックアップとリストア

顔認証サーバーのバックアップ

顔認証サーバーのバックアップについては、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の4章「バックアップとリカバリー」>「バックアップ」を参照してください。

顔認証サーバーのリストア

顔認証サーバーのデータベースをリストアする場合の方法については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の4章「バックアップとリカバリー」>「顔認証サーバーのリカバリーの実施方法」を参照してください。

ネットワークカメラの初期化

ネットワークカメラ本体の初期化

ネットワークカメラ本体を初期化する方法については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の4章「バックアップとリカバリー」>「NW カメラの出荷状態へ復元方法」を参照してください。

初期設定

ネットワークカメラの初期設定方法については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の付録1「カメラの初期状態からの設定方法」を参照してください。

6 注意制限 / トラブル対処

6.1 注意制限について

顔認証システムの注意および制限事項について説明します。

『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の5章「注意制限事項」も合わせてご覧ください。

顔認証エンジンに関する留意事項

- 顔認証はすべてのセキュリティを保証するものではないため、推奨稼働条件を満たしていない場合は、正常に認証できないことがあります。

6.3 参照

- 推奨稼働条件は、「顔認証時の推奨環境」(P.26)を参照してください。
- 写真やモバイル端末に表示した顔画像をカメラにかざす「詐称行為」の検知はできません。写真をかざすことで認証されることがあります。

顔認証システムのご設定、ご使用の注意制限について

- 顔認証画面以外に複合機の操作パネル上に表示される「ICカード」に類する表記は、「顔認証」と読み替えてください。
- 複合機、顔認証サーバー、ネットワークカメラは固定IPアドレスが必要です。
- 原稿送り装置が、ネットワークカメラやネットワークケーブルに触れないように設置してください。
- 顔認証されない、または顔認証に時間がかかる場合は、顔をネットワークカメラに近づけてください。
- 複合機1台あたりに関連付ける顔認証ユーザー人数を150人以上設定する場合、認証時間が遅くなる場合があります。
- オフィスセキュリティの顔認証システムとの連携はできません。
- 機械管理者モードで[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御]の[サービスのアクセス]を設定している場合は、ホーム画面にある本サービスアイコンを消しません。

顔認証時の推奨環境

- ネットワークカメラは次のような場所に設置することを推奨します。
 - 日光が入らない場所
 - 安定した照度の光が顔にあたる場所
 - 幅広の照明器具など、光の広がり（配光）の広い照明の場所
 - 複数の人、ポスターなどが映り込まない場所（通路の先など通行人が複数映りこむような場所は避けてください。）

登録顔画像に関する留意事項

- 撮影画像の解像度は 640×480 ピクセル (VGA) ~ 1920×1080 ピクセル (FHD) にしてください。
- 正面を向き、平常時の表情で撮影してください。
横 / 上下を向いたり、目を閉じたりしないでください。
- 顔が隠れないようにしてください。
マスクや帽子、サングラス、黒縁メガネなどは外してください。眼鏡をかける場合は、正しい位置にかけてください。(フレームが目にかかる場合、光で反射して目が写らない場合は外してください。) 前髪で眉、目が隠れないようにしてください。
- 日光が入ると照明が安定しないため、日光の影響を避け、明るい室内で撮影してください。
- 照明の向き・強さに注意してください。
前面からの適度な照明を用意してください。
<良くない例>
 - × 後ろからの光：逆光になり顔が暗く映る
 - × 横からの光：顔に影が出来る
 - × 強すぎる光：顔が白とびして映る
- 背景の映り込みに注意してください。
 - 背景は無地が望ましいです。
 - 電灯や鏡など、まぶしいものが入らないようにしてください。
 - 周囲に他の顔が入らないように、一人ずつ撮影してください。
- 目、鼻、口、顔がしっかり見えるように撮影してください。
顔の一部が隠れないように、胸元から上をアップで撮影してください。ピンボケや手ブレに注意してください。三脚などで固定して撮影することが望ましいです。
- 加工は禁止です。
過度な化粧やアプリなどによる加工は行わないでください。
- 定期的な撮影を推奨します。
精度向上のために、定期的に再撮影を行ってください。

顔認証システムについて

顔認証システムの詳細については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の 5 章「注意制限事項」 > 「顔認証システムに関する注意事項」、「顔認証時の注意事項・留意事項」および「顔認証の認証精度に関する留意事項」を参照してください。

顔認証システムの再起動について

詳細については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の 5 章「注意制限事項」 > 「システムの再起動」を参照してください。

顔認証単体、顔認証と IC カード認証のどちらか一方を認証して利用する場合の注意制限について

- 機械管理者モードのログイン時に、機械管理者の顔認証または機械管理者 ID と一致したカードは使用できません。
- 機械管理者モードにログインするには、キーボードでユーザー ID とパスワードを入力してください。

顔認証と IC カード認証の両方を認証して利用する場合の注意制限について

- 本システムで運用する ID は、カード ID、顔情報、ユーザー ID のすべてを一致させてください。
- IC カード併用時、機械管理者モードにログインするには、次の方法があります。
 - 機械管理者 ID と一致したカードをかざし、キーボードでユーザー ID とパスワードを入力する。
 - 機械管理者 ID と一致したカードをかざし、機械管理者の顔情報を認識させたあと、パスワードを入力する。
- 機械管理者は一般ユーザーとして利用できません。
- 認証方式の [認証しない] は利用できません。
- カード ID と顔情報の不一致エラーは表示されません。不一致のときは認証ログイン画面に戻ります。

6.2 トラブル対処

トラブルが発生した場合の処置については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の付録6「トラブルシューティング」を参照してください。

エラーコードのトラブル対処

No.	エラーコード	症状	原因	対処
1	0001	認証画面起動時にエラーが発生する。	利用できない設定がされています。 ICカードの認証解除設定は[カードが離れると認証解除]を利用できません。	操作パネルのホーム画面で機械管理者モードにログインし、[設定] > [認証 / 集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [非接触型ICカード設定] で、[パネル指示で認証解除]を設定してください。
2	0002	認証画面起動時にエラーが発生する。	利用できない設定がされています。 ICカードを使用しない設定になっています。	インターネットサービスで機械管理者モードにログインし、[認証 / 集計 / 権限] > [認証 / 集計設定] > [認証設定] > [詳細設定] > [ICカードの使用] で、[する]を設定してください。
3	0003	認証画面起動時にエラーが発生する。	利用できない設定がされています。 認証モードがカスタム認証モードになっています。	インターネットサービスで機械管理者モードにログインし、[認証 / 集計 / 権限] > [認証 / 集計設定] > [認証 / 集計の設定] > [認証 / 集計の運用] で、[カスタム認証]以外を設定してください。 [認証しない]は顔認証単体、顔認証とICカード認証のどちらか一方を認証して利用する場合に設定できます。
4	0004	認証画面起動時にエラーが発生する。	利用できない設定がされています。 外部認証サーバーで Azure Active Directory が指定されています。	インターネットサービスで機械管理者モードにログインし、[認証 / 集計 / 権限] > [認証 / 集計設定] > [認証 / 集計の設定] > [認証 / 集計の運用] > [ネット認証 / 集計] で、[Azure Active Directory]以外を設定してください。
5	0005	認証画面起動時にエラーが発生する。	利用できない設定がされています。 NIST SP800-171 設定が有効になっています。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

No.	エラーコード	症状	原因	対処
6	0006	認証画面起動時にエラーが発生する。	利用できない設定がされています。 本体認証で IC カードの自動登録が有効になっています。	インターネットサービスで機械管理者モードにログインし、[認証 / 集計 / 権限] > [ユーザーアカウント一覧] > [設定] > [IC カード認証時のユーザー自動登録] を、無効に設定してください。
7	0102	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部通信に失敗しました。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
8	0103	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部処理が正常に処理できませんでした。 お使いの複合機のバージョンでは本機能を利用できない可能性があります。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
9	1404	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部通信に失敗しました。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
10	1501	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部通信に失敗しました。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
11	3000	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部通信に失敗しました。 必要なソフトウェアが不足しています。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
12	3001	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部通信に失敗しました。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
13	5000	認証画面起動時にエラーが発生する。	ソフトウェアに異常が発生しています。 内部通信に失敗しました。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
14	-	ログインできない。 IC カードが認識されない。	IC カードリーダーの読み取り設定が正しくありません。	ご利用の IC カードリーダーのマニュアルを参照し、IC カードの読み取り設定を行ってください。 ID の確認は、「IC カードの ID を確認する」(P.33) を参照してください。

No.	エラーコード	症状	原因	対処
15	-	ログインできない。顔が認識されない。	顔認証サーバーで、認識失敗しています。	<ul style="list-style-type: none"> 顔認証サーバーに顔情報が登録されているか、確認してください。 カメラの設置環境（明るさ、逆光、背景、フォーカス）を確認してください。 詳細は「顔認証のトラブル対処」(P.34)を参照ください。
16	-	ログインできない。顔（またはカード）の認証が成功したあと、カード（または顔）を認識させるとログイン画面に戻る。	カード ID と顔情報が一致していないため、認証失敗しています。	カード ID と顔情報を確認し、一致させた状態でログインしてください。ID の確認は、「IC カードの ID を確認する」(P.33)」を参照してください。
17	-		ユーザー ID を認証システム（本体認証 / 外部認証サーバー）と照合した結果、認証失敗しました。	ご利用のユーザー ID が認証システム（本体認証 / 外部認証サーバー）に登録されているか、確認してください。
18	-	ログインできない。キーボード入力中にログイン画面に戻る。	キーボード入力中にカメラが顔を撮影し、認証失敗しました。	<ul style="list-style-type: none"> 顔認証サーバーの設定を確認し、正しく顔認証できる状態にしてください。 複合機の近くを通りかかった第三者の顔で認証をされている可能性があります。カメラの画角、マスクを調整し、第三者が映り込まない状態でご利用ください。
19	-	キーボード入力中に意図せず認証成功する。	IC カード認証後、キーボード入力中にカメラが顔を撮影し認証成功しています。	対処不要です。キーボードを使った認証と、顔情報を使った認証に、機能差はありません。
20	-	機械管理者モードのログイン時に、コンテンツの 0001 ~ 0006 エラー画面が表示されてログインできない。	利用できない設定を検知し、エラーが発生しています。エラー発生中は、IC カードや顔、キーボードによるログインはできません。	インターネットサービスで機械管理者モードにログインし、エラーの要因となっている設定を変更してください。症状が解消されない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

No.	エラーコード	症状	原因	対処
21	-	キーボードにて、一般ユーザーのID/パスワードを入力できない。	ICカード（顔）の利用と、キーボード認証とを併用する設定になっていません。	一般ユーザーでもキーボードを利用したい場合は、操作パネルのホーム画面で機械管理者モードにログインし、[設定] > [認証/集計管理] > [認証・セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証情報の設定] > [ICカード接続時の認証] で、[ICカードまたはパネル入力] を設定してください。
22	-	顔（またはカード）の認証が成功したあと、カード（または顔）を認識させてから画面がリセットされるまでの時間が短い、または長い。	リセット時間の初期値は、30秒に設定されています。	弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

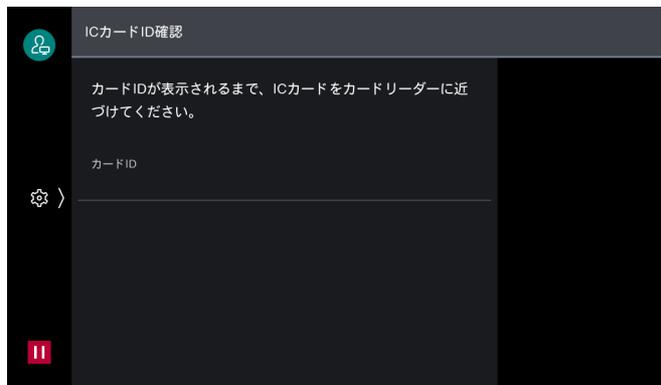
IC カードの ID を確認する

1. 操作パネルの左上の認証情報の表示エリアを押します。
2. 機械管理者モードに入ります。

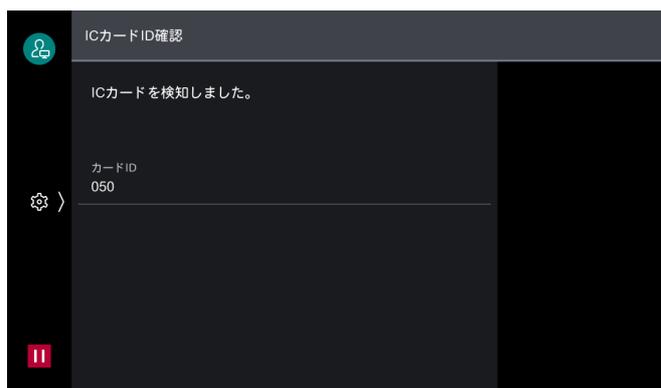
🔍 参照

- 機械管理者モードの入り方は「複合機本体の設定」(P.14) の手順 1、2 を参照してください。

3. ホーム画面の [IC カード ID 確認] を押し、[IC カード ID 確認] 画面を表示します。



4. IC カードリーダーに IC カードをかざし、IC カードの ID を確認します。



5. ホームボタンを押します。

顔認証のトラブル対処

ネットワークカメラの LED が点灯していない

原因	ネットワークカメラからの画像が、顔認証サーバーで顔として認識できていません。
対処 1	PC から Web ブラウザーでカメラの設定画面を開き、映りを確認してください。 6d 参照 <ul style="list-style-type: none">『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「2.2. 画像の転送先の設定変更→(1)」。『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「2.3. その他任意設定項目→1) NW カメラの 180 度回転」。
対処 2	電源ケーブル、ネットワークケーブルが接続されているかを確認してください。
対処 3	顔認証サーバー本体の IP アドレスを確認してください。 6d 参照 <ul style="list-style-type: none">『複合機対応 顔認証機能・設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「1.1. 顔認証サーバーの固定 IP の設定変更」。『複合機対応 顔認証機能・設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「1.2. 顔認証サーバー上の複合機および NW カメラの設定変更」。
対処 4	顔認証サーバー本体の IP アドレスが正しい場合は、顔認証サーバーのバックアップとリカバリーを実施してください。 6d 参照 <ul style="list-style-type: none">『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「4.1. 顔認証サーバーのバックアップ」。『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「4.2. 顔認証サーバーのリカバリーの実施方法」。

※ 以上の方法で症状が解消しない場合は、顔認証サーバーのログと複合機のログを取得し、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

ネットワークカメラの LED が、緑の点滅と無点灯をくり返す

原因	複合機が顔認証サーバーから取得した ID 情報が誤っています。または取得できていません。
対処 1	管理者モードで IC カード確認を立ち上げ、顔認証サーバーから取得した ID を確認してください。 <ul style="list-style-type: none">ID が取得できている場合は、取得した ID が複合機で使用する認証システムに登録されていることを確認してください。ID が取得できていない場合は、顔認証サーバーのログと複合機のログを取得し、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。
対処 2	ID に異常がない場合は、顔認証サーバーのバックアップとリカバリーを実施してください。 6d 参照 <ul style="list-style-type: none">『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「4.1. 顔認証サーバーのバックアップ」。『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「4.2. 顔認証サーバーのリカバリーの実施方法」。
対処 3	認証に 10 秒以上かかる場合は、複合機のネットワーク設定を確認してください。

※ 以上の方法で症状が解消しない場合は、顔認証サーバーのログと複合機のログを取得し、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

ネットワークカメラのLEDが、緑と赤の点滅、無点灯をくり返す

原因	ネットワークカメラの画像が、顔認証サーバーに登録した画像の照合に失敗しています。
対処 1	顔認証する人が登録されていることを確認してください。 6D 参照 <ul style="list-style-type: none"> 『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「1.3. ユーザと顔画像の登録方法」。
対処 2	顔認証サーバー内の顔認証モニターツールを起動し、アクションメッセージ (ログ) 内の照合結果 (Score) を確認してください。 6D 参照 <ul style="list-style-type: none"> 『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「付録 4.1. アクション状況の表示」。
対処 3	カメラ映りを確認してください。 6D 参照 <ul style="list-style-type: none"> 『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル (顔認証サーバー、ネットワークカメラ)』の「2.2. 画像の転送先の設定変更→(1)」。

※ 以上の方法で症状が解消しない場合は、顔認証サーバーのログと複合機のログを取得し、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

ネットワークカメラのLEDが、黄と赤の点灯をくり返す

原因	ネットワークカメラのネットワークケーブルが外れているなど、ネットワーク接続が利用できません。
対処	ネットワークケーブルを確認してください。

7 付録

7.1 初期状態からの設定

顔認証サーバーとネットワークカメラの初期状態からの設定について説明します。

顔認証サーバーの初期設定

顔認証サーバーの初期設定方法については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の4章「バックアップとリカバリー」>「顔認証サーバーのリカバリーの実施方法」を参照してください。

ネットワークカメラの初期設定

ネットワークカメラの初期設定方法については、『複合機対応 顔認証機能 設置・運用マニュアル（顔認証サーバー、ネットワークカメラ）』の付録1「カメラの初期状態からの設定方法」を参照してください。

7.2 認証方式の移行

顔認証と IC カード認証の同時認証から、両方の認証装置を接続したままでどちらか一方の認証に移行する場合

- システム設定の変更が必要になります。詳細については、お使いの機種 of 『リファレンスガイド』を参照してください。
- 認証方式の移行については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

両方の認証装置を接続したままの顔認証と IC カード認証のどちらか一方の認証から、同時認証に移行する場合

- システム設定の変更が必要になります。詳細については、お使いの機種 of 『リファレンスガイド』を参照してください。
- 認証方式の移行については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

両方の認証装置を接続した状態から、顔認証と IC カード認証のどちらか一方の単独装置による認証に移行する場合

- システム設定の変更と機器の取り外しが必要になります。詳細については、お使いの機種 of 『リファレンスガイド』を参照してください。
- 認証方式の移行については、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。